



第五十五回岡山市芸術祭



第六十一回

岡山日本舞踊協会公演

平成30年1月27日 **土**

開場 11:00 開演 11:30

岡山市民会館

岡山市北区丸の内2丁目1番1号 ☎086-223-2165

一般 5,000円

全席自由

主催/岡山日本舞踊協会、岡山市芸術祭実行委員会、岡山市

お問い合わせ/岡山日本舞踊協会 (岡山市文化振興課内)

☎086-803-1054

チケットは、ぎんざや・岡山市民会館・岡山市役所(7階)文化振興課で販売。



第55回岡山市芸術祭

第61回岡山日本舞踊協会公演



演目

- | | |
|----------------|-------------------|
| 一、長唄奏
元禄花見踊 | 杵屋勝友美連中 |
| 二、長唄
老松 | 花柳珠華鋭 |
| 三、長唄
花車岩井扇 | 山元聡子 |
| 四、長唄
田舎巫女 | 尾形和子 |
| 五、長唄
藤娘 | 青田理恵子 |
| 六、長唄
惜しむ春 | 若柳寿美彰 |
| 七、長唄
汐汲 | 花柳鋭仁紀 |
| 八、長唄
水仙丹前 | 若柳京紫信 |
| 九、長唄
八島官女 | 藤間峯由 |
| 十、長唄
春の調べ | 若柳秀紫信 |
| 十一、長唄
新鹿の子 | 花柳鋭珠穂 |
| 十二、長唄
俄獅子 | 坂東奈美衛 |
| 十三、長唄
四季の山姥 | 若柳桃保 |
| 十四、長唄
喜三の庭 | 男 藤間善一
女 藤間勘穂都 |

演目の解説

老松

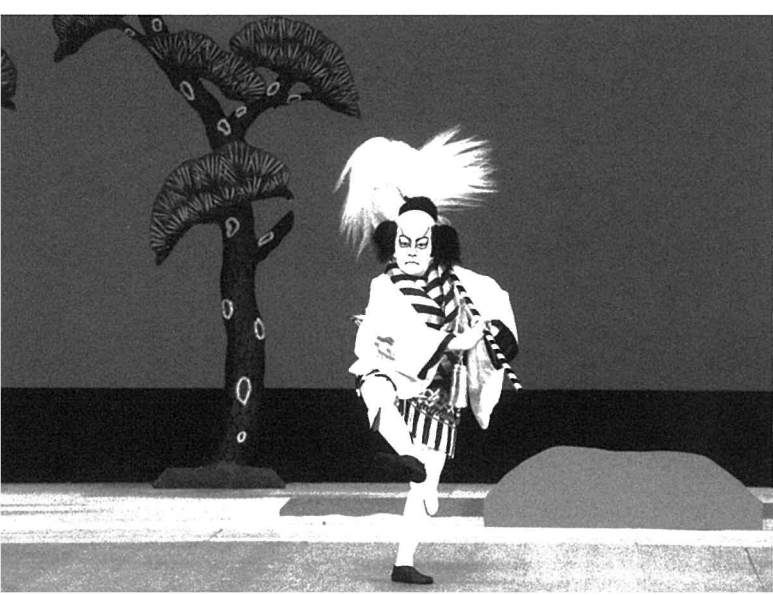
謡曲「老松」から取材したもので、題名通り、老松の目出たさ、松にちなんだ風景や風俗が変化のある曲調で展開されます。その面白さを踊り手が素踊りでどこまで巧妙に表現しているか、また振りの変化に洗練された、さわやかさがあるか、それが見所になっています。

田舎巫女

「田舎巫女」は一定の神社に所属しているのではなく、各地を歩き回った巫女を面白く舞踊化したものです。独特な扮装での滑稽な振が見せ所です。神の枝や鈴と御幣を持って踊る神楽風の振には天の岩戸や大日如来も出て来ます。品のない御色気も歌われていますが、こんな所に流し巫女らしい一種のローカル味も感じられます。奔放に踊っておかし味を出せる所です。明るく軽妙な踊の境地を見せるのが踊り手の見せ所です。

八島官女

平家の一門が壇の浦で源氏に亡された後、八島に残った。落ぶれた平家の官女たちが、海女となり魚等を賣り乍ら昔の栄華の夢を追う哀れさが描かれています。以前は官女の身の上だったのが、今では零落して魚など賣る哀れな生活の悲しみをたっぷり踊るのが見所です。最後は官女の頃を思い出し、重々しく岩組の上で見得を切ります。前半の海女と後半の官女との演じ分けに面白さがあります。



お問い合わせ
岡山日本舞踊協会(岡山市文化振興課内)
☎086-803-1054
チケットは、ぎんざや・岡山市民会館・岡山市役所(7階)文化振興課で販売。